



## 国勢調査から見る県内市町村別人口の概要

～ 「平成22年国勢調査確報 人口等基本集計結果」より ～

平成22年国勢調査(確報値)によると、平成22年10月1日現在の沖縄県の人口は、1,392,818人で、前回調査の17年に比べ31,224人、2.3%増加しました。人口増加率は前回調査の3.3%を1.0ポイント下回り、人口の伸びは昭和55年以降鈍化してきています。

人口を市町村別にみると、那覇市が315,954人で最も多く、次いで沖縄市が130,249人、うるま市が116,979人となっており、最も少ないのが渡名喜村の452人となっています。

人口増減について、上位5市町村をみると、人口増加率は北大東村が13.1%で最も高く、人口減少率は座間味村が19.7%減で最も高くなっています。一方、人口増加数は豊見城市が4,745人と最も大きく、人口減少数は宮古島市が1,454人で最も大きくなっています。

人口は中南部に集中し、北部や離島で減少傾向が見られます。【表1～4】

表1 人口増加率の高い市町村

	市町村名	人口	増減数	増減率
1	北大東村	655	77	13.1
2	中城村	17,680	1,882	11.9
3	豊見城市	57,261	4,745	9.0
4	与那原町	16,318	975	6.4
5	八重瀬町	26,681	1,560	6.2

表3 人口増加数の大きい市町村

	市町村名	人口	増減数	増減率
1	豊見城市	57,261	4,745	9.0
2	浦添市	110,351	4,302	4.1
3	沖縄市	130,249	3,849	3.0
4	那覇市	315,954	3,561	1.1
5	うるま市	116,979	3,444	3.0

表2 人口減少率の高い市町村

	市町村名	人口	増減数	増減率
1	座間味村	865	212	19.7
2	渡名喜村	452	79	14.9
3	伊平屋村	1,385	162	10.5
4	多良間村	1,231	139	10.1
5	伊是名村	1,589	173	9.8

表4 人口減少数の大きい市町村

	市町村名	人口	増減数	増減率
1	宮古島市	52,039	1,454	2.7
2	久米島町	8,519	658	7.2
3	本部町	13,870	513	3.6
4	伊江村	4,737	373	7.3
5	国頭村	5,188	358	6.5

表5 年少(0～14歳)人口割合が高い市町村 [全国]

順位	市町村	実数(人)	割合(%)
1	富山県舟橋村	647	21.8
2	沖縄県多良間村	268	21.8
3	三重県朝日町	2,025	21.1
4	石川県川北町	1,262	20.5
5	沖縄県豊見城市	11,475	20.0
6	宮城県富谷町	9,249	19.7
7	沖縄県南風原町	6,908	19.6
8	滋賀県栗東市	12,412	19.5
9	沖縄県浦添市	21,264	19.4
10	沖縄県沖縄市	24,925	19.2
11	沖縄県宜野座村	1,009	18.9
12	沖縄県読谷村	7,215	18.9
13	沖縄県糸満市	10,727	18.7
14	沖縄県伊平屋村	258	18.7
15	愛知県みよし市	11,152	18.7
16	沖縄県与那原町	3,035	18.6
17	沖縄県北谷町	5,034	18.6
18	沖縄県石垣市	8,637	18.5
19	沖縄県与那国町	301	18.2
20	沖縄県宜野湾市	16,546	18.2

さて、次に年少(0～14歳)人口の割合について市町村別にみると、多良間村が21.8%(268人)で最も高く、次いで豊見城市が20.0%(11,475人)、南風原町が19.6%(6,908人)と続きます。

ちなみに、都道府県でみると沖縄県は17.8%と全国の中で最も高くなっています。(全国は13.2%)

ところで、沖縄県の年少人口割合が高いことはよく知られていますが、全国を市町村別にみても沖縄県の市町村の多くが上位を占めていることはあまり知られていないのではないのでしょうか?

驚くことに、今回の結果で全国1,728市町村のうち、上位20位までの中に沖縄県の市町村が14市町村もランクインしています。【表5】

この結果からも、やはり沖縄県は“子たくさん”と言えるでしょう。

詳細は下記を参照

・平成22年国勢調査確報 沖縄県の人口と世帯数

( <http://www.pref.okinawa.jp/toukeika/kokutyuu22/index.htm> )